

相模線 要望項目一覧（19件）

輸送力増強	2
1 新線・線増計画	
(1) 信号保安設備等の既存設備改修や行違い施設設置（継続）	
(2) 複線化の早期実現（継続）	
2 輸送計画の改善	
< 運転本数の増発等 >	
(1) 通勤・通学時等の輸送力増強（継続）	
(2) 深夜時間帯の輸送力増強（継続）	
(3) 八王子駅直通の運転本数の増加（継続）	
< 他路線への乗入れ >	
(4) 他線との相互乗入れ（継続）	
< その他 >	
(5) 他線との乗継ぎ改善（継続）	
利便性向上	4
1 新駅の設置	
(1) （仮称）西久保駅の設置（継続）	
(2) （仮称）磯部駅及び（仮称）作の口駅の設置（継続）	
(3) （仮称）海老名運動公園前駅及び（仮称）上今泉駅の設置（継続）	
2 駅施設等の整備	
(1) 社家駅舎のバリアフリー化（継続）	
(2) 北茅ヶ崎駅の駅施設改善（継続）	
(3) 香川駅の駅施設改善（継続）	
(4) 海老名駅のホーム拡幅（継続）	
(5) 入谷駅の駅施設改善及び駅の有人化（継続）	
(6) 下溝駅の駅施設改善（継続）	
(7) 相武台下駅の駅施設改善（新規）	
その他	7
(1) 駅無人時間帯の有人化（継続）	
(2) 厚木駅の名称変更（継続）	

輸送力増強

1 新線・線増計画

(1) 信号保安設備等の既存設備改修や行違い施設設置（継続）

運輸政策審議会答申第 18 号においても、その必要性が改めて見直されており、複線化に向けた段階的整備として、信号保安設備等の既存設備改修とともに、行違い施設のない駅への行違い施設設置により、速達性向上や輸送力増強を図られるよう要望いたします。

新・相模原市総合計画、相模原市都市計画マスタープラン、相模原市総合都市交通計画、ちがさき都市マスタープラン、茅ヶ崎市総合交通プラン、海老名市第四次総合計画後期基本計画、海老名市都市マスタープラン、第四次座間市総合計画、座間市都市マスタープラン、座間市総合都市交通計画、寒川町総合計画 さむかわ 2020 プラン後期基本計画、寒川町都市マスタープラン

(2) 複線化の早期実現（継続）

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会で、寒川町倉見地区への東海道新幹線新駅の誘致活動を行うとともに、受け皿となるツインシティのまちづくりへの取組みが進んでいます。

一方、リニア中央新幹線については、事業者である東海旅客鉄道株式会社が、環境影響評価の手続きの中で、橋本駅付近への神奈川県駅の設置を公表するとともに、平成 26 年 10 月には、工事実施計画が認可され、いよいよ事業が進められることとなります。

相模線は、神奈川県の県央都市圏と湘南都市圏の結びつきを強化し、将来は、全国の交流連携の窓口となる東海道新幹線新駅とリニア中央新幹線神奈川県駅をつなぐ、南北方向の交通軸となることが期待される重要な路線であり、県や市町においても、沿線開発やまちづくりに取り組んでいるところです。

しかしながら、単線であるため、運行本数の制約や列車の行違いによる所要時間の増加等の問題があり、これを解消するには抜本的な輸送力の改善が必要と思われます。

については、複線化についての具体的・本格的な検討により、複線化が早期に実現され、抜本的な輸送力増強やサービス向上が図られるよう要望いたします。

かながわランドデザイン、ツインシティ整備計画、新・相模原市総合計画、相模原市都市計画マスタープラン、相模原市総合都市交通計画、茅ヶ崎市総合計画第 2 次実施計画、ちがさき都市マスタープラン、茅ヶ崎市総合交通プラン、海老名市第四次総合計画後期基本計画、海老名市都市マスタープラン、第四次座間市総合計画、座間市都市マスタープラン、座間市総合都市交通計画、寒川町総合計画 さむかわ 2020 プラン後期基本計画、ツインシティ倉見地区まちづくり基本計画、寒川町都市マスタープラン

2 輸送計画の改善

< 運転本数の増発等 >

(1) 通勤・通学時等の輸送力増強（継続）

ダイヤ改正時におけるデータタイム運転時隔のパターン化により、利便性向上が図られておりますが、通勤・通学時間帯（6～8時、17～19時）における混雑緩和等、さらなる利便性向上のために、最大運転本数（1時間あたり5本）の確保など、運転本数を増加されるよう要望いたします。

（新・相模原市総合計画、相模原市都市計画マスタープラン、相模原市総合都市交通計画、茅ヶ崎市総合計画、茅ヶ崎市総合交通プラン、ちがさき都市マスタープラン、海老名市第四次総合計画後期基本計画、海老名市都市マスタープラン、第四次座間市総合計画、座間市都市マスタープラン、寒川町総合計画 さむかわ 2020 プラン後期基本計画、寒川町都市マスタープラン）

(2) 深夜時間帯の輸送力増強（継続）

東京、横浜方面への通勤・通学者は、帰宅時である21時以降に相模線をよく利用していますが、21時以降については接続する他線の運転本数に対し、相模線は1時間あたり2本と少ないことから、駅で待機する時間が長く、1本あたりの乗車人員も多くなり、不便を強いられている状況となっております。

このことを踏まえ、他の鉄道路線との乗継客の利便性向上のため、21時以降の相模線の運行本数を増加されるよう要望いたします。

（茅ヶ崎市総合計画、茅ヶ崎市総合交通プラン、ちがさき都市マスタープラン、寒川町総合計画 さむかわ 2020 プラン後期基本計画）

(3) 八王子駅直通の運転本数の増加（継続）

電化と同時に、相模線の八王子駅までの直通運転が実現しましたが、通勤・通学者等の利便性向上のため、運転本数を増加されるよう要望いたします。

（相模原市都市計画マスタープラン、相模原市総合都市交通計画）

< 他路線への乗入れ >

(4) 他線との相互乗入れ（継続）

乗継客の利便性向上のため、東海道本線及び相模鉄道線との相互乗入れをされるよう要望いたします。

（茅ヶ崎市総合計画第2次実施計画、ちがさき都市マスタープラン、茅ヶ崎市総合交通プラン、海老名市第四次総合計画後期基本計画、海老名市都市マスタープラン、寒川町総合計画 さむかわ 2020 プラン後期基本計画）

<その他>

(5) 他線との乗継ぎ改善（継続）

他の鉄道路線との乗継客の利便性向上のため、始発電車の繰上げ増便、最終電車の繰下げ増便等により、他線とのダイヤ接続に配慮されるよう要望いたします。

特に平日の最終電車について、現在、他線最終電車の橋本駅着時刻は、京王線下り電車が1時04分、横浜線上り電車が0時26分、同線下り電車が1時00分である一方で、橋本駅発上り最終電車は23時21分となっております。また、東海道本線下り最終電車は0時54分である一方、茅ヶ崎駅発下り最終電車は23時47分となっております。

いずれも利用者にとって不便となっていることから、繰下げ増便されるよう要望いたします。

（茅ヶ崎市総合計画、茅ヶ崎市総合交通プラン、ちがさき都市マスタープラン、海老名市第四次総合計画後期基本計画、海老名市都市マスタープラン、寒川町総合計画 さむかわ 2020 プラン後期基本計画）

利便性向上

1 新駅の設置

(1) （仮称）西久保駅の設置（継続）

北茅ヶ崎駅～香川駅間の要望箇所周辺には、大規模団地があるほか、住宅建設が進んでおります。地元からも新駅設置を要望されており、茅ヶ崎市では、新駅を想定した周辺の秩序あるまちづくりを検討しておりますので、利便性向上及び活性化を促進するためにも、（仮称）西久保駅を設置されるよう要望いたします。

（茅ヶ崎市総合計画第2次実施計画、ちがさき都市マスタープラン、茅ヶ崎市総合交通プラン）

(2) （仮称）磯部駅及び（仮称）作の口駅の設置（継続）

相武台下駅から下溝駅間の沿線地域は、近年宅地開発が進み、人口が増加しております。

また、上溝駅から南橋本駅間の沿線地域は、大規模企業が多数立地し、相模原市の中核的な工業地帯として、今後ますます市街化が進展するものと思われれます。

しかし、これらの地域においては、最寄駅が遠いため、バス、自家用車等に頼らざるを得ない状況となっており、地元からも駅復活の強い要望が出されております。

ついては、沿線地域の発展と利便性向上のため、（仮称）磯部駅及び（仮称）作の口駅の設置を早期に実現されるよう要望いたします。

（新・相模原市総合計画、相模原市都市計画マスタープラン）

(3) (仮称)海老名運動公園前駅及び(仮称)上今泉駅の設置(継続)

社家駅から厚木駅の間には、野球場、総合体育館、陸上競技場等の施設を配した海老名運動公園があり、多くの方が利用しています。この他、周辺には事業所や学校などがあります。海老名市としても、新駅を想定した中で、この地域において、良いまちづくりが進められるよう検討をしている中、平成21年9月には、運動公園周辺地区が工業系の特定保留区域に指定され、今後は、産業の集積とともに利用者の増加が予想されます。

については、海老名運動公園及び周辺地域の利便性確保のため、(仮称)海老名運動公園前駅を設置されるよう要望いたします。

また、海老名駅から入谷駅の駅間は3.0kmと相模線区間の中でも一番長く、上今泉・下今泉地区からも駅復活の強い要望が出されています。

当区間には、県施設の産業技術センターが立地しており、また県立相模三川公園も整備され、今後も多くの利用者が予測されます。

については、沿線地域の発展と利便性向上のため、(仮称)上今泉駅を設置されるよう要望いたします。

(海老名市第四次総合計画後期基本計画、海老名市都市マスタープラン)

2 駅施設等の整備

(1) 社家駅舎のバリアフリー化(継続)

社家駅周辺には、座間特別養護学校有馬分教室が開校しており、障害者通所施設「レインボールーム」があります。これらの施設利用者には、鉄道を利用して通学・通所している方もおります。

また、同駅は、高齢者にとっても階段の昇り降り等、移動の負担が大きいため、エレベーターの設置を求める声が数多く寄せられています。

社家駅のバリアフリー化としてエレベーターを設置されるよう要望いたします。

(海老名市第四次総合計画後期基本計画、海老名市障がい者福祉計画、海老名市都市マスタープラン)

(2) 北茅ヶ崎駅の駅施設改善(継続)

北茅ヶ崎駅は、年々利用者数が増加していますが、利用者が多く住む駅東側に改札口がなく、踏切を横断しなくてはならないため、利用者等にとっては不便であるだけでなく、危険でもあります。

この状況を改善するため北茅ヶ崎駅の自由通路・橋上化について、貴社と設計を進めておりますが、引き続きの取組みをお願いします。

(茅ヶ崎市総合計画第2次実施計画)

(3) 香川駅の駅施設改善(継続)

香川駅周辺は近年特定土地区画整理事業の完了に伴い、人口が増加しており、

駅利用者も増加傾向にあります。

区画整理地区も含めた利用者の多くが住む駅東側に改札口がなく、踏切を横断しなくてはならないため、利用者等にとっては不便であるだけでなく、危険でもあります。

茅ヶ崎市において策定した、「香川駅周辺地区まちづくり整備計画」においても、駅周辺の交通結節点の整備として、将来の複線化を視野に入れた行違い化の中で、香川駅を自由通路・橋上化する計画となっています。

このため、行違い施設の設置とあわせて香川駅を自由通路・橋上化し、この状況を改善するとともに、エスカレーター及びエレベーターを設置されるよう要望いたします。

（茅ヶ崎市総合計画第2次実施計画、ちがさき都市マスタープラン、香川駅周辺地区まちづくり整備計画）

(4) 海老名駅のホーム拡幅（継続）

海老名市では本年10月、海老名駅西口土地区画整理事業による、ららぼーと海老名のオープン等、海老名駅西口地区がまち開きされました。また、海老名駅の東口と西口を結ぶ自由通路が供用開始され、駅周辺の都市基盤整備が一層進み、海老名駅鉄道利用者の大幅な増加が見込まれます。

しかし、海老名駅のホームは幅が狭く、高齢者や障害者等が乗降や移動する際の安全確保が十分に図られていないのが現状です。

ついては、転落事故防止や移動動線確保のために、早急にホームを拡幅されるよう要望いたします。

（海老名市都市マスタープラン）

(5) 入谷駅の駅施設改善及び駅の有人化（継続）

入谷駅は、近隣地区の人口増加に伴い、利用者の需要も高まっております。

しかし、現在、入谷駅はトイレがなく、利用者にとっては大変不便な状況であり、地元からも強い要望が出されておりますので、設置されるよう要望いたします。

また、ホームには屋根が設置されているものの、雨風をしのぐには不十分であるので、風雨時に対応できる待合室等を整備されるよう要望いたします。

加えて、東側にはスロープが設置され、ホームまでの段差は解消されましたが、ホームと電車との段差については、解消には至っておらず、また、西側は、近くに踏切がないため、大きく迂回をするか跨線橋を渡らねばならないことから、高齢者や障害者等は大変不便な状況であるので、利用しやすいよう駅施設の整備を要望するとともに、利用者にとって安全性確保や利便性向上のため、無人駅を解消されるよう要望いたします。

（第四次座間市総合計画、座間市都市マスタープラン）

(6) 下溝駅の駅施設改善（継続）

下溝駅は、地平駅舎・単式ホームであるため、他の駅に比べ、大規模な改修を伴わずに段差の解消が可能であると考えられます。

ついては、高齢者や障害者等が利用しやすいよう、当面の対策としてスロープ等を設置されるよう要望いたします。

〔 新・相模原市総合計画、相模原市総合都市交通計画、第2期相模原市障害者福祉計画 〕

(7) 相武台下駅の駅施設改善（新規）

相武台下駅は改札からホームまで跨線橋の階段を利用しなければならず、移動の負担が大きいため、高齢者、障害者等が利用しやすいよう、エレベーターを設置されるよう要望いたします。

その他

(1) 駅無人時間帯の有人化（継続）

現在、宮山駅、倉見駅、社家駅、門沢橋駅、相武台下駅、下溝駅、原当麻駅、番田駅及び上溝駅では、通勤・通学時間帯を含む一部の運転時間において無人となっており、利用者は事故等万一の事態への不安や不便を日々感じております。

ついては、終日、もしくは朝夕のピーク時間帯に駅職員を配置されるよう要望いたします。

(2) 厚木駅の名称変更（継続）

厚木駅は、海老名市に位置しているにもかかわらず、厚木駅という名称のため、厚木市に位置する小田急線の本厚木駅と錯誤し、遠来者や旅行者に不便をかけているとともに、市民等からも駅名変更についての要望が出されております。

ついては、利用者の利便性等を勘案のうえ、厚木駅の名称を変更されるよう要望いたします。